



太陽と水からエネルギーと安心を

Solar Hydrogen intelligent Power Station



# SHiPS紹介

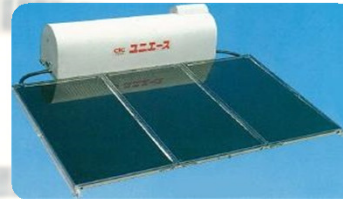
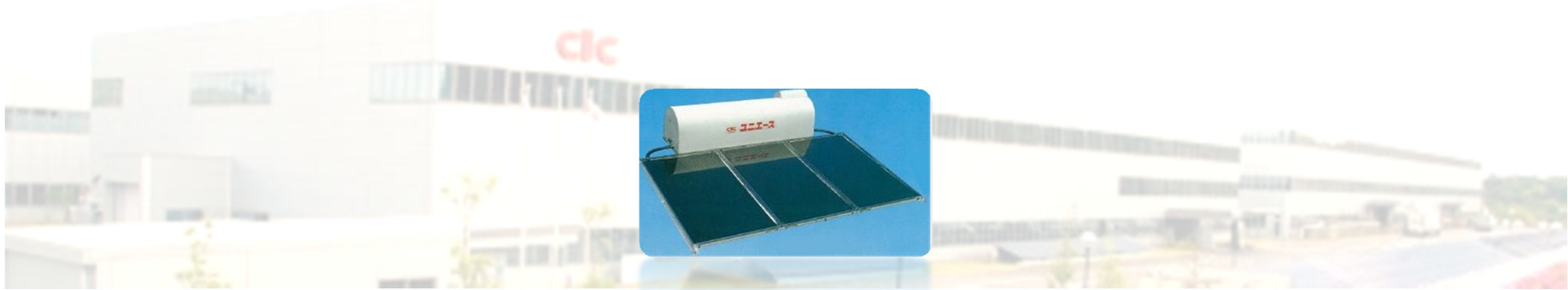
2018年7月18日  
長州産業株式会社  
新エネルギー事業部  
新エネルギー推進課



太陽と水からエネルギーと安心を

Solar Hydrogen intelligent Power Station

# 技術の系譜



太陽熱温水器  
ソーラーシステム

石油給湯器  
風呂釜

半導体製造装置  
メンテナンス

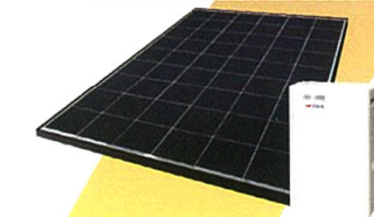
超精密機械加工

エネルギー機器事業

洗浄事業

真空メカトロ機器事業

真空メカトロ機器事業 (FA)



太陽光発電システム  
蓄電システム



成膜装置部品の  
洗浄・溶射処理技術



半導体製造装置  
液晶パネル製造装置  
有機ELデバイス製造装置



FA関連システム



SHiPSとは



太陽と水からエネルギーと安心を

Solar Hydrogen intelligent Power Station

# ソーラー水素 i パワーステーション

Solar Hydrogen intelligent Power Station

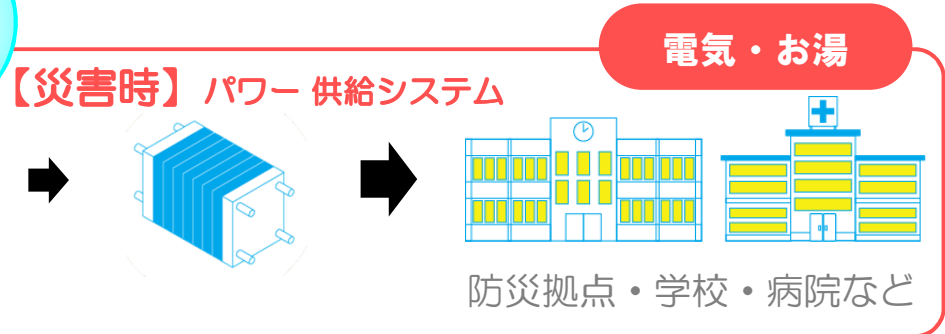
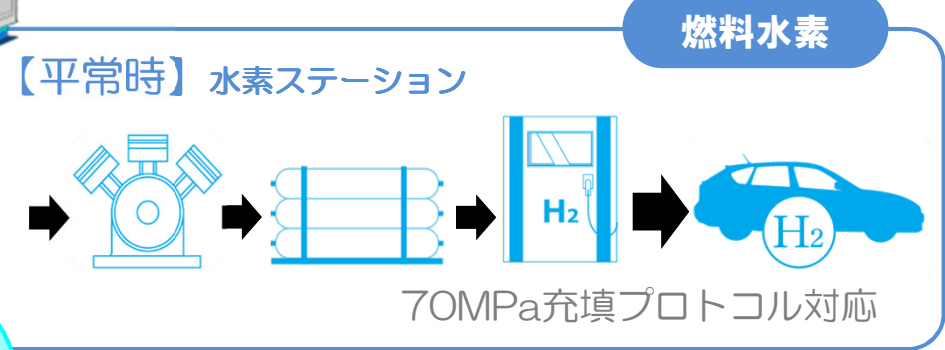




太陽と水からエネルギーと安心を

Solar Hydrogen intelligent Power Station

# SHiPSの概要



## 普段使いも可能な、眠らない災害対応型ステーション

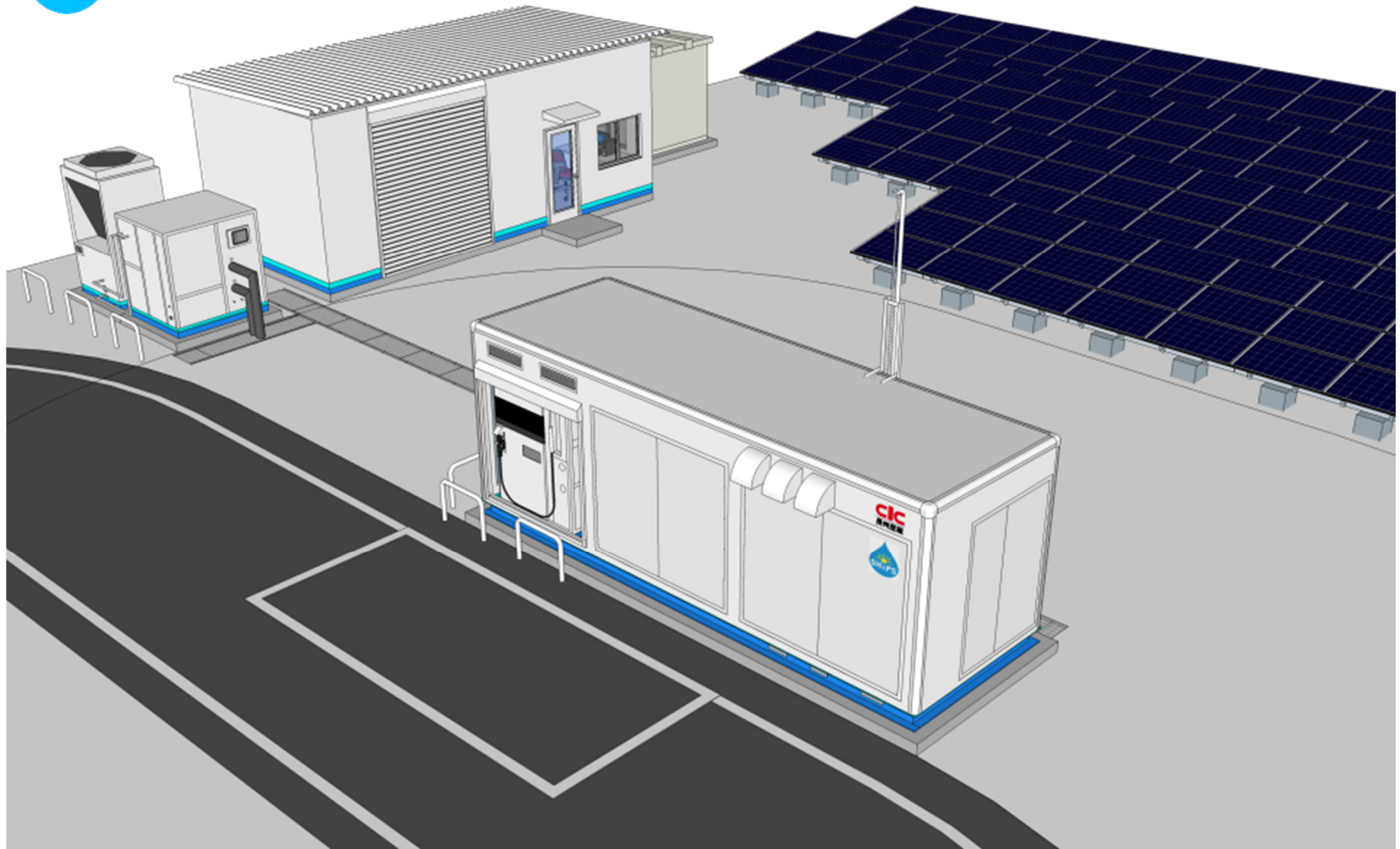


# SHiPSの設置例



太陽と水からエネルギーと安心を

Solar Hydrogen intelligent Power Station







再エネ水素を活用した社会インフラの低炭素化促進事業 (一部経済産業省、国土交通省連携事業)

平成30年度予算(案) 2,570百万円(1,000百万円)

背景・目的

- 水素は、利用時においてCO2を排出せず、再生可能エネルギー(再エネ)の貯蔵にも活用できることから、地球温暖化対策上重要なエネルギーである。
低炭素な水素社会の実現に向けて、燃料電池自動車の普及・促進を図るためには、再エネ由来の水素ステーションの導入及び燃料電池車両等の導入による社会インフラ整備の加速化が急務である。
未来投資戦略2017において、2020年度までに再エネ由来水素ステーション100箇所程度整備するとの目標が掲げられている。

事業概要

- (1) 地域再エネ水素ステーション導入事業【経済産業省連携事業】
太陽光発電等の再エネを活用して、地方公共団体等が行う再エネ由来水素ステーションの施設整備に対して支援する。
(2) 水素ステーション保守点検支援事業
再エネ由来水素ステーションや燃料電池自動車等の活用促進に向け、稼働初期における保守点検に対して支援する。
(3) 水素社会実現に向けた産業車両等における燃料電池化促進事業【一部国土交通省連携事業】
燃料電池車両の普及・促進が期待される、燃料電池バス及び産業用燃料電池車両の導入に対して支援する。

事業スキーム

- (1) 実施期間：平成27～31年度 補助率：3/4
(2) 実施期間：平成30～32年度 補助率：2/3
(3) 実施期間：平成28～31年度 補助率：燃料電池バス 車両本体価格の1/3 産業用燃料電池車両 エンジン車との差額の1/2

事業目的・概要等



期待される効果

- 100箇所程度を目標とする再エネ由来水素ステーションの確実な整備とともに、産業用燃料電池車両を導入することによる低炭素な水素社会の実現に向けた社会インフラの普及・促進

Table with 3 columns: 1. 導入設備の区分, 2. 補助率, 3. 補助上限額. Includes details for hydrogen production capacity and station types.

Table with 5 columns: 水素ステーション保守点検支援事業, 地域再エネ水素ステーション導入事業, 事業を行うために必要な人件費及び業務費(賃金、社会保障料、諸謝金、光熱水費、会議費、共済費、旅費、印刷費、本費、通信運搬費、手数料、委託料、使用料及び賃借料及び消耗品費)並びにその他必要な経費で補助事業者が承認した経費(間接補助対象経費の内容については、別表第2に定めるものとする。), 補助事業者が必要と認められた額, ア 総事業費から寄付金その他の収入額を控除した額を算出する。イ 第3欄に掲げる間接補助対象経費と第4欄に掲げる基準額とを比較して少ない方の額を算出する。ウ アにより算出された額とイで算出された額とを比較して少ない方の額に三分の二を乗じて得た額を交付額とする。ただし、算出された額が1,000円未満の端数が生じた場合には、これを切り捨てるものとする。また、算出された額が2百万円を超える場合は、当該金額とする。

導入支援

運営支援

[出典]環境省HPより



# SHiPS 実証機



SHiPS 太陽と水からエネルギーと安心を Solar Hydrogen intelligent Power Station

